



平成 14 年 5 月 27 日

各 位

株式会社エーティーエルシステムズ
代表取締役社長 内藤 治生
(店頭登録銘柄・コード 4663)
お問合せ先
取締役管理部長 河西 健太郎
Tel. 055-220-6456 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 14 年 2 月 18 日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表しました平成 14 年 4 月期 (平成 13 年 5 月 1 日～平成 14 年 4 月 30 日) 業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 通期 (平成 13 年 5 月 1 日～平成 14 年 4 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常損益	当期純損益
前回発表予想 (A) (平成 14 年 2 月 18 日発表)	450	30	61
今回修正予想 (B)	368	△23	7
増減額 (B-A)	△81	△53	△53
増減率	△18.0%	- %	△88.4%

2. 修正理由

(1) 売上高 450 百万円を計画しておりましたが、以下の理由により目標を下回る結果となり、売上高 368 百万円、経常損失 23 百万円、当期純利益 7 百万円となる見通しです。

・プロダクト事業推進部において、自治体向けを中心とする Web アプリケーション及びシステム構築、ネットワーク設計、コンサルティング業務について売上高が大幅に伸びましたが、見込んでいた提携先等民間企業向けのシステム構築、コンサルティング業務の一部について、顧客先の都合により遅れることとなり、予定していた売上が計上できなかったこと。

・IT ソリューション事業部において、インターネットを利用した企業向けシステム構築、コンサルティング業務について、開発計画の延期等の事情により遅れたため、予定していた売上が計上できなかったこと。

(2) 上記の大幅な予想修正の要因は、3 月、4 月に集中する売上の予想の精度によるものであり、今後の対応として、予想方法の一層の改善を図るとともに、顧客へのサービス提供による収益構造の転換を通じた収益の安定化・平準化を図ることにより、改善を図ってまいります。

(3) 平成 12 年 5 月の東京オフィス新設に伴い開設した IT ソリューション事業部については、既に黒字化しており、経常損失の主な要因は、プロダクト事業推進部の立ち上がりの遅れによるものであります。

プロダクト事業推進部の主な業務は、①山梨県内の市町村を中心とした、自治体向けネットワーク及びシステム設計、設計監理、Web システムの構築などのソリューション提供及びコンサルティング、並びに②セキュリティ機器等、ネットワーク関連機器向けソフトウェアの開発であります。

当期においては、自治体向けコンサルティングについて、実績及びノウハウの蓄積による新規案件を獲得し、顧客ニーズに対応した製品・サービスの提供を行うことにより、一層の収益向上を図る予定であります。ネットワーク関連機器向けのソフトウェア開発については、マーケットニーズを重視し、新規製品開発・組織体制・業務の見直しを行う予定であります。さらに、全社にわたる経費の見直しを行い、全社ベースでの黒字の定着を図る予定であります。

3. ご参考：

(1) 平成13年4月期の実績

(単位：百万円)

	売上高	経常損益	当期純損益
平成13年4月期 (H12年5月～H13年4月)	274	△118	△118

(2) 平成14年4月期の四半期の推移

(単位：百万円)

	売上高	経常損益	当期純損益
第1四半期 (H13年5月～H13年7月)	48	△47	△47
第2四半期 (H13年8月～H13年10月)	111	13	12
第3四半期 (H13年11月～H14年1月)	78	△23	△23
第4四半期(予想) (H14年2月～H14年4月)	129	34	65

以上